

7

次のAからCまでの短歌を読んで、あとの問いに答えなさい。

<p>A</p> <p>秋暮れて今年もさむし^{ごご}午后はやく日かげる庭の白菊の光り</p> <p>木下利玄^{きのしたりげん}</p>	<p>B</p> <p>水すまし流^{ながれ}にむかひさかのほる^{注1}汝がいきほひよ^{かす}微かなれども</p> <p>斎藤茂吉^{さいとうもきち}</p>	<p>C</p> <p>街灯の光とどかぬ^{注2}舗道にて落葉^{おちば}あかるく月照りにけり</p> <p>佐藤佐太郎^{さとうさたろう}</p>
---	---	--

(注1) 汝おまえ。

(注2) 舗道表面を平らに舗装した道路。

一 Aの短歌について、言葉のつながりや意味のまとまりから切れめを付けるとしたらどこになりますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。「／」は切れめを表します。

- 1 秋暮れて／今年もさむし午后はやく日かげる庭の白菊の光り
- 2 秋暮れて今年もさむし／午后はやく日かげる庭の白菊の光り
- 3 秋暮れて今年もさむし午后はやく／日かげる庭の白菊の光り
- 4 秋暮れて今年もさむし午后はやく日かげる庭の／白菊の光り

- 二 次の文章は、Bの短歌について書かれたものです。□に入る言葉として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選びなさい。

水すましは、池や小川にいる小さな虫。この短歌は、この小さな虫が懸命に足を動かして、水面を少しずつ進んでいく様子を詠よんでいる。

- 1 水の流れに従って
- 2 水の流れを避けて
- 3 水の流れを横切って
- 4 水の流れに逆らって

- 三 Cの短歌について書かれたものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 街灯の光も月の光も届かない舗道で、落ち葉が明るく光っているように見えて不思議に思ったことを詠んでいる。
- 2 街灯の光と月の光との両方に照らし出された舗道を歩き、ひときわ輝く落ち葉を見付けて驚いたことを詠んでいる。
- 3 街灯の光が届かない舗道なのに、落ち葉が光っているのを見て月の明るさに心を動かされたことを詠んでいる。
- 4 街灯の光で照らされた落ち葉があまりに明るくて、月が照っていることにも気付かなかったことを詠んでいる。